

ご協力いただける方、募集中です！



ボランティアさん

子どもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

<小児待合室活動日>

毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時

※新型コロナウィルの感染状況によっては、変更されることがあります。

後援会員さん・ご寄付

当団体の活動は、みなさまの会費とご寄付や助成金で行っています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員…ご入会頂くと「こどものちから通信」をお届けします。

◆個人3,000/年 ◆団体(1口)10,000円/年

ご寄付…みなさまの温かいお気持ちは、きょうだいさんの笑顔を増やす
活動に 大切に活用させていただきます。

◆「こどものちから」の1年は、4月から翌年3月までです(へへ)

お振込先

郵便振替番号:00170-7-571697

口座名:特定非営利活動法人こどものちから

お問い合わせ・発行元

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局

〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211

TEL:080-6867-6135 メールアドレス:tarumifight@yahoo.co.jp

※独立した事務所がございませんので、ご連絡は上記メールアドレスまで
お願いいたします。

Facebook:www.facebook.com/kodomonotikara

ホームページ:<http://kodomono-chikara.org/>

<協力団体> 大原薬品工業株式会社

株式会社ソフトクリエイティブホールディングス

クリフォードチャンス法律事務所

たくさんの方々や企業の方々からご寄付を頂きました。
いつもお心に留めて頂きありがとうございます。

代表 井上るみ子



病院に連れてこられても病棟には入れない
きょうだいさんに遊んでもらう活動をしています。



～パンダちゃんと一緒にかき氷でひんやり感を～
今年の夏も暑さが厳しそうなので、
負けずに乗り切りましょう♪

<制作者 スタッフ・さいとう はるみ>

No. 27 2024年6月発行

協働ステーション中央主催「つながりマルシェ」 ブース出展!!

事前準備

「つながりマルシェ」とは?

まちづくり、子育て、福祉、アートなど、暮らしをよくしようとする
社会貢献活動と、活動を始めたい人・連携相手を探したい組
織とのマッチングを生み出すイベントです。

3月2日(土)に行われる協働ステーション中央主催「つながりマルシェ」にブース出展をすることになりました。

活動内容紹介として紹介文や活動中の写真の他、より理解を深めてもらうために、お子さん達に大人気のビヨヨンへびの工作グッズも用意することになりました。

2月25日(日)午後1時～午後4時、

協働ステーション中央に、スタッフ・ボランティア総数14名が集まり、いつものように賑やかに作業をしました。

「完成品で子ども達と遊ぶ経験はあっても工作は初めて」というボランティアさんがいたり、久しぶりに参加してくれるボランティアさんがいたり・・・

楽しい近況報告もたくさん聞くことができました。

☆ビヨヨンへび初体験。かなり難しいことがわかりました。若い方お二人と一緒に楽しく作ることができました。おしゃべりしながら色々と学べ、ありがたいです。

☆久しぶりで、とても楽しかったです。来年からはいっぱい参加できるようにします。

☆「こどものちから」が他の人にも知られますように。

☆楽しくおしゃべりしながら、時には職人のように真面目に、ビヨヨンへび作りに取り組んだり、笑いの絶えない活動になりました。

☆少しずつ上達することができて嬉しかったです。また、様々なバックグラウンドを持つ人達と関わる(出会う)ことができるのも、活動の良さだなと感じました。

☆ビヨヨンへびで遊んだことはあったけど作るのは初めてだったので、慎重に作業していたけど、やっていくうちに夢中になって楽しみながら作っていました。

みなさんがとても楽しく作業をしてくださっているお姿をみていて、本番が楽しみに
なりました(^_^) ご協力ありがとうございました。



活動内容

新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながら院内での活動は 現在も休止中です。

- ◆ 2月12日(月) 子どもを亡くした親の会「稲村ヶ崎の会」協力
- ◆ 3月 2日(土) 協働ステーション中央主催「つながりマルシェ」ブース出展
- ◆ 3月10日(日) 「藤田浩子さんのおはなし会」開催
- ◆ 5月11日(土) 大妻女子大学「ボランティア説明会」参加
- ◆ 5月19日(日) 第12回「こどものちから総会」開催
- ◆ 5月24日(金) 難病のこども支援全国ネットワーク主催「プレイリーダー養成講座」講演
- ◆ 6月21日(金) 通信27号 発行

今後の予定

- ◆ 6月30日(日) 「『すくすく』網膜芽細胞腫の家族の会」の勉強会保育に向けて、内部研修会及び事前準備 1回目
- ◆ 7月 7日(日) 内部研修会及び事前準備 2回目
- ◆ 7月14日(日) 「『すくすく』網膜芽細胞腫の家族の会」30周年記念式典、保育
- ◆ 7月15日(月) 「『すくすく』網膜芽細胞腫の家族の会」勉強会、保育
- ◆ 10月22日(火) 上智大学「生と死のケアリング・コロキウム」講演
- ◆ 10月～11月 クリスマス工場
- ◆ 12月20日(金) 通信28号 発行
- ◆ 2月16日(日) 「藤田浩子さんのおはなし会」

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更されることがあります。

1日も早く収束して、また院内での活動が再開され、お友達に遊んでもらえる日が来ることを祈っております。

病棟へプレゼント



「チクチク会」さまから折紙とフェルトの野菜



「二角形」さまからハートの小物入れ

うれしいお知らせ



活動をご理解・ご支援くださる企業や団体・個人の皆さまから
たくさんのご寄付をいただきありがとうございます。

- ◆こどもとデザインの実験室「三角形」さま
色とりどりのフェルトで作ったハートのオーナメントをいただきました。
作ってくれたお子さん達の楽しい気持ちが伝わってきました。
小児科病棟にお届けしました。
- ◆チクチク会さま
折紙やフェルトのお野菜をいただきました。
やわらかく手触りの良いお野菜達、眺めているだけでおいしそうです。
小児科病棟にお届けしました
- ◆ソフトクリエイティブホールディングス株式会社さま
複数回にわたり、ご寄付をいただきました。
- ◆認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワークさま
今年もまた活動助成金をいただきました。
- ◆クリフォードチャンス法律事務所さま
今年もまたたくさんのご寄付をいただきました。

いただきましたたくさんのご寄付は、子ども達のために
大切に活用させていただきます。



2023年度会計報告

<収入の部>		<支出の部>	
科目	金額	科目	金額
会費	373,000	病児や兄弟・家族の支援事業	155,680
寄付金	1,182,039	兄弟支援に関わる情報発信事業	201,181
難病のこども支援全国ネットワーク	29,569	病児や家族等を対象とした交流事業	0
事業収益(イベント参加費他)	30,100	兄弟支援に関わる勉強会の開催および 学びの機会の提供事業	237,750
受取利息	23	その他目的を達成する為に必要な事業	0
雑収入	8,524	管理部門	317,311
合計	1,623,255	合計	911,922
		経費外費用(雑損)	0
		当期正味財産増減額	711,333
		前期繰越正味財産増減額	2,581,114
		次期繰越財産額	3,292,447



当日

3月2日(土)午前11時～午後3時
協働ステーション中央主催「つながりマルシェ」にブースを出展しました。

いつも利用させていただいている会議室の他、フリースペース・事務所(多目的スペース)・教室・通路など、所狭しと35におよぶ団体がブース出展をしていました。子育て中のママを応援する団体さん・身体の不自由な人のために地域ごとに詳しいマップを作成する団体さん大きな地震などの災害時に必要となる避難グッズや避難方法などを体験しながら学ぶことができる団体さん・土踏まずの大切さをを小学生に伝える団体さん・スポーツあり・音楽あり・文化あり・・・30を超える団体さんや中央区社会福祉協議会さんや中央区のコミュニティラジオ局「中央FM」さんも参加されていました。



活動内容の紹介の他にそれぞれが工夫を凝らした体験コーナーも準備されていて、幅広い活動を知ることができて、とても心強く感じました。中には、待合室活動でも人気のレゴブロックを使ったワークショップもありました。「レゴ®シリアスプレイ®研修・ワークショップ」と言うのですが、1つのお題に対して、それぞれが作品を作り、作っているときの気持ちや気づいたことを思いつくまに発表します。どんなことを話しても批判や評価を受けることはありません。自分も相手も大切にされ、参加している全員が自発的に話をするができます。参加することで新しい発見もあり、いつもと違うレゴブロックの素晴らしさを発見することができました。今後対面活動が再開されたら、遊びの中に取り入れてみたいと思いました。



1週間前にボランティアさん達と一緒に準備した「ビヨヨンへび」は、やはり来場者の目をひきました。活動紹介をしながら、ビヨヨンへびを見てもらい、体験していただくことで、病気のお子さんやきょうだいさんの置かれた環境をより身近に感じていただけたと思っています。
皆さまのご協力に感謝いたします。



藤田浩子さんのおはなし会

3月10日(日)午後1時～3時 協働ステーション中央にて

参加される方が心待ちにされている藤田さんのおはなし会。
9名のスタッフ・ボランティアで、33名のみなさんをお迎えしました。
受付時間よりも少し早めに集まり始め、開催時間前には全員集合。
みなさん本当に楽しみにされているのがわかります。
受付で配られた色画用紙と薄紙…。「これは何？」
くるくるくると色画用紙を丸めて筒状にして、薄紙を片方の穴に
べたり。筒状の端に唇を当てて「ウ～、ウ～」と声を出すと、あら不思議。
まるで横笛になりました。会場全員が横笛の名手です。おはなし会開
催前から、横笛の演奏会が始まりました。もちろん指揮者は藤田さん。



楽しい笑い声が会場いっぱいに広がりました。
「ひざをたたいて」「餅数え唄」「ぼつつんポツポツ」「あやとりを
使って」等々、みなさんの笑顔がはじけました。
「そうだ村の村長さん」「帽子売り」「は～あ、そのとおり」などなど、
参加型のおはなしや嫁いびりのおはなしなど、会場からのリクエスト
に応じて、2時間はあっという間に過ぎていきました。



- ☆紙で作った笛があんなに楽しく皆で演奏できるなんて驚きです。
- ☆藤田さんがお元気で嬉しかったし、いまだに200もの物語が語れ
ることに深さを感じてしまいます。私も子ども達に優しく語り、遊び
たいと改めて思います。
- ☆お手玉やあやとりなど昔懐かしい伝承遊び、子ども達に伝えられ
たらなあと思いました。
- ☆“大人”たちがみんな明るく笑顔でいるので、すごく心が和みます。
- ☆色々な制作物、遊びを知って楽しかったです。
- ☆みーんなの楽しい“気”があふれているだけで幸せな気持ちになりました。みなさんのち
からと藤田さんのちからが、すごく融合して、私自身のパワーアップになりました。
- ☆いつも童心に返って楽しめます。私もこんな楽しいおはなしができればと憧れます。



会場は藤田さんを中心に、温かく癒やしのエネルギーが満ちていました。
この穏やかな安らぎの時間をコロナ禍でがんばっている子ども達や親御さんにもお届けしたい
と思いました。 次回は、2025年2月ごろに開催したいと思っています♡



大妻女子大学ボランティア説明会

5月11日(土)午前10時～12時 大妻女子大学にて



大妻女子大学児童学科1年生に向けて、ボランティア説
明会に参加しました。昨年活動に参加し2年生となった
学生さんが助っ人として協力してくださいました。
昨年の活動でも、病院内での対面活動はできませんで
したが、4年ぶりに行われた「すくすく」勉強会保育では
徐々に緊張がほぐれて、担当のお子さんと自然体で関わり、
とても良い雰囲気作りをしてくれました。学生さん達と
一緒に遊ぶ子ども達のかわいい笑顔が印象的でした。

クリスマス工場では、若々しい発想で、次々と素敵な作品を作ってくれました♡

ボランティア説明会で先輩として後輩達に活動内容や感想を
伝えるときには、分かりやすく丁寧に説明してくれて、一年間の
成長を感じさせてくれました。
説明会に参加してくれた学生さん達の中から2名が今年度
ボランティアとして活動してくれることになりました。
終了後さっそく6人で連絡先の交換をして、今年度の活動に
期待しています(^_^) どうぞよろしくお願いいたします。



第12回 こどものちから「総会」

5月19日(日)午前11時30分～午後12時30分
築地ボン・マルシェにて



2013年4月にスタートした「こどものちから」は、
今年4月で11年目を迎え、5年ぶりに対面で第12回総
会を実施しました。
久しぶりに顔を合わせて、和やかに楽しく昨年できたこ
とを振り返り、今後のことを話し合い、そして歩んできた
この10年をたどりました。

「こどものちから」がスタートするとき、
名前はまだありませんでした。
「子どもにも力があることを信じてよ。」
それまでの活動でお友達になった病児
さんに言われて、ハッとしました。
「子どもは小さくて弱いだけの存在じゃない!」
サポートする側とされる側に上下の関係はありません。
子どもの力を信じて「こどものちから」は誕生したのです。

